

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R5の主要な取組	R6の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R5	(目標値) R7		
【基本方針1】心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進	1 生涯にわたる多様な学習機会の拡充	公民館の利用者数	4.3万人	1.4万人	4.7万人	■中央公民館及び各地区公民館活動の充実と社会教育施設の積極的な活用を図るとともに、連携を深めながら市民の学習ニーズや地域課題解決型学習、健康づくりなど多様な体験活動を実施 ■すこやか大学、障害者青年学級・障害者成人教室、視覚障害者成人講座・聴覚障害者成人講座の実施などにより、高齢者や障害のある人の学習機会を提供できた。 ■上宮津地区公民館を旧上宮津小学校校舎に移転整備し、公民館の耐震化を図るとともに、避難所機能の向上を図った。 ■養老地区公民館の放射線防護施設整備に伴い長寿寿命化対策を行った。 ■市民が図書に親しむ機会を充実するとともに、中高生向けの推薦図書リストの活用や中高生の選書図書コーナーの設置を実施した。	■市民の身近な学習拠点である中央公民館及び各地区公民館活動の充実と社会教育施設の積極的な活用を図るとともに、連携を深めながら市民の学習ニーズや地域課題解決型学習、健康づくりなど多様な体験活動や学習ニーズに対応する学習習慣の定着を促進する。 ■放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、日置小学校区において、「放課後見守り活動」を、保護者、地域の参画を得て実施する。 ■移動図書館車による地域、学校等への訪問や地区公民館(図書室)の活用を通じ、市民が図書に親しむ機会を充実するとともに、中高生向けの推薦図書リストの活用や中高生の選書図書コーナーの設置等により、中高生の読書活動を推進する。
	2 人権教育・啓発の推進	-	-	-	-	■インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題等についての理解と認識を深めるため、人権問題研修会等を開催した。 ■市民を対象とした人権に関する多様な学習活動を推進するとともに、学校、家庭、地域、企業及び関係諸機関・団体と連携・協働した取組を実施した。 ■地域の実情に応じた人権教育を推進するために社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上を図った。	■ インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題等についての理解と認識を深めるため、人権問題研修会等を開催する。 ■ 市民を対象とした人権に関する多様な学習活動を推進するとともに、学校、家庭、地域、企業及び関係諸機関・団体と連携・協働した取組を促進する。 ■ 地域の実情に応じた人権教育を推進するために社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上を図る。
	3 家庭や地域の教育力の向上	地域学校協働活動の実施数・活動人数	-	85回	100回	■「宮津市子どもをはぐくむ7ヶ条～心豊かな青少年をはぐくむために～」の理解促進と実践に向け、学校、幼稚園、保育所(園)、認定こども園と家庭・地域が連携・協働し取組を実施した。 ■地域と学校の効果的な連携・協働を目指し、宮津市地域学校協働本部とともに、地域学校協働活動推進員を配置し、宮津ならではの地域学校協働活動を実施した。	■「宮津市子どもをはぐくむ7ヶ条～心豊かな青少年をはぐくむために～」の理解促進と実践に向け、学校、幼稚園、保育所(園)、認定こども園と家庭・地域が連携・協働し取組を推進する。 ■ 地域と学校の効果的な連携・協働を目指し、宮津市地域学校協働本部とともに、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員を中心に、宮津ならではの地域学校協働活動を推進する。
	4 ふるさとみやづ学の構築	-	-	-	-	■自らが生活する地域について学ぶ「おとなのふるさとみやづ学」を展開し、各種講座や現地視察等通じ、地域への誇りと愛着を高め、「宮津をよりよい場所にするために自分自身がかかわる」という当事者意識、シビックプライドを醸成した。 ■地域学校協働活動の一環として、各学校の「ふるさとみやづ学」との連携を図るとともに、高校生を対象に「ふるさとみやづ学 高校生立志編」を実施し、地域を担う人材を育成した。 ■20歳の年齢で、ふるさとみやづを再認識する機会として「二十歳のつどい」を開催した。	■市内高等学校と大学、地域を結ぶコーディネーターを配置し、高校生の学びの支援を行う。 ■ 自らが生活する地域について学ぶ「おとなのふるさとみやづ学」を展開し、各種講座や現地視察等を通じ、地域への誇りと愛着を高め、「宮津をよりよい場所にするために自分自身がかかわる」という当事者意識、シビックプライドを醸成する。 ■ 地域学校協働活動の一環として、各学校の「ふるさとみやづ学」との連携を図るとともに、高校生を対象に「ふるさとみやづ学 高校生立志編」を実施し、地域を担う人材を育成する。 ■20歳の年齢で、ふるさとみやづを再認識する機会として「二十歳のつどい」を開催し、宮津を担う人材を育成する。

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続

□ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R5の主要な取組	R6の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R5	(目標値) R7		
【基本方針2】明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成	1 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実 ・就学前教育・保育の充実	入園児数	48人	38人	—	■幼稚園給食の実施 ■幼稚園の体制強化 ■保幼小接続カリキュラムによる「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識した幼児教育の実践 ■幼稚園給食を通した食育の充実 ■幼稚園ひろばの実施	■幼稚園給食の実施 ■幼稚園の体制強化 ■保幼小接続カリキュラムによる「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識した幼児教育の実践 ■幼稚園給食を通した食育の充実 ■幼稚園ひろばの実施
		預かり保育	2,143人日	4,229人日	—		
		市立幼稚園の空調整備	77.3%	77.3%	100%		
		市立幼稚園トイレの洋式化	100%	100%	100%		
		幼稚園ひろばの実施	2園	2園	2園		
	・質の高い学力の充実・向上	全国学力・学習状況調査における教科(算数・数学)に関する調査の平均正答率	小6:62.0 全国平均 66.6 府平均 68.0 中3:62.0 全国平均 59.8 府平均 61.0	小6:66.0 全国平均 62.5 府平均 65.0 中3:48.0 全国平均 51.0 府平均 52.0	常に全国平均と京都府平均以上	■キャリア教育、「ふるさとみやづ学」の実施 ■全国学力テストの結果分析及び教育活動改善検討 ■国際理解教育(AET派遣) ■学力向上に向けての指導力向上対策／宮津市学力向上プランの推進 ・英語検定、漢字検定の全員受検(受検者への全額補助制度) ・算数学び定着サポーターの配置による算数・数学の指導力向上 ・小学校英語教科化の実施(専科教員配置、小学校教諭の英語指導力向上等) ■小中一貫教育推進基本計画に基づく取組推進 ・栗田学院・宮津学院の本格実施 ・4小学校連携事業の実施 ・市民啓発の推進、R5宮津市教育フォーラムの実施 ■教科・領域等カリキュラムに基づく認知・非認知を一体的に育む教科指導等の実践 ■ICT機器を活用した授業の推進 □宮津市学びの深化プロジェクトの実施 □宮津市学びの深化プロジェクト研究実践校(吉津小)の指定 □Team GALAPAGOSの立ち上げ(主体的な研修・実践研究チーム)、成果波及 □宮津市学びの深化プロジェクトサポート訪問の実施 ■プログラミング教育の推進	■学力向上に向けての指導力向上対策／低学力対策 □学びの深化プロジェクトの具体的実践の創出・増強 □学びの深化プロジェクト研究実践校の成果波及の推進 □宮津市学びの深化プロジェクトサポート訪問による学校支援の強化 □Team GALAPAGOS(主体的な研修・実践研究チーム)の充実と成果波及 □宮津の新たな教育の指標作成及び園・小中学校、児童生徒の実態調査の実施 ■キャリア教育、「ふるさとみやづ学」の実施 ■小中一貫教育推進基本計画に基づく取組推進 ・宮津学院、栗田学院、3小学校連携事業の取組推進 ・市民啓発の推進(宮津市教育フォーラム) ※学力向上対策の強化 ・英語検定、漢字検定の全員受検(受検者への全額補助制度) ・算数まなび定着サポーターによる算数・数学の基礎学力向上 ・小学校英語教科化の実施(小学校教諭の英語指導力向上等) ・中学校選択英語の実施(英語でのコミュニケーション力の向上) ■教科・領域等カリキュラムに基づく教科指導等の実践と検証 ■プログラミング教育の推進、発展
		全国学力・学習状況調査における将来の夢や目標を持っている生徒の割合	中3:39.4% 全国平均 44.9%	中3:49.4% 全国平均 39.4%	常に全国平均と京都府平均以上		
		全国学力・学習状況調査における今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小6:69.0% 全国平均 37.2% 中3:41.5% 全国平均 21.05	小6:48.6% 全国平均 24.3% 中3:49.4% 全国平均 12.2%	全国平均以上		
	・学校給食	市立幼稚園給食の実施	—	2園	2園	■年間を通じた民間委託によるセンター方式給食の運営 ■令和3年4月から公立の2幼稚園における給食の開始(再掲) ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達制度の運用と食育の推進	■センター方式給食の運営及び食育の推進(再掲) ■学校給食委員会の運営 ■幼稚園給食の実施(再掲)
		給食食材調達登録事業者	43件	43件	—		
		食育の取り組み	—	—	—		
	・学校教育環境の整備・充実	市立小中学校の耐震化	100%	100%	100%	【安全で良好な教育環境の整備】 ■養老小・府中小の統合に向けた地元協議を行い、令和5年度末に養老小を閉校した。 ■専用スクールバスの運行 ■4小連携事業の取組推進 ■学校ICT環境の充実(1人1台端末、高速大容量ネットワーク整備) ■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ・市立小中学校、幼稚園の学級閉鎖措置、感染症対策備品の購入 ■学校施設長寿命化計画の策定 【子どもの貧困対策】 ■まなび生活アドバイザー、スクールカウンセラーの配置による教育支援 ■就学援助費(国基準に伴う新入学学用品費の単価アップ)の拡充	【安全で良好な教育環境の整備】 ■ □専用スクールバスの運行、置き去り防止装置の設置 ■3小連携事業の更なる取組推進 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続 ■学校施設長寿命化計画に基づく施設管理 【子どもの貧困対策】 ■まなび生活アドバイザー、スクールカウンセラーの配置による教育支援 ■就学援助費(国基準に伴う新入学学用品費の単価アップ)の拡充
		非構造部材の耐震対策	44.4%	47.1%	100%		
		市立小学校の空調整備	79.6%	84.8%	100%		
		市立中学校の空調整備	54.8%	63.5%	100%		
		市立小学校のトイレ洋式化	53.0%	52.7%	100%		
		市立中学校のトイレ洋式化	22.6%	46.0%	100%		

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R5の主要な取組	R6の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R5	(目標値) R7		
	・放課後児童クラブの充実	学校敷地内等での運営施設数	3箇所	4箇所	—	■府中のびのび放課後児童クラブの開設、法人委託での運営(府中小校舎内) ■栗田のびのび放課後児童クラブの開設、法人委託での運営(栗田小敷地内) ■吉津のびのび放課後児童クラブの開設、法人委託での運営(吉津小校舎内) ■宮津のびのび放課後児童クラブの開設、法人委託での運営(宮津小学校内)	(こども家庭センターに移管)
	2 夢・志・豊かな感性を持った人づくり ・心身ともに健やかな子どもの育成	不登校児童生徒の出現率	0.14%	(小)3.41%	0%	■不登校児童生徒への対応(教育支援センター) ■全小中学校へのいじめ調査の実施、検証 ■道徳教育・ボランティア活動 ■人権教育の推進 ■食育推進計画に基づく食育推進 ■センター方式給食の実施(4小学校・2中学校・2幼稚園) ・給食費の公会計化(センター方式給食校)による管理 ・調理・配送等業務民間委託により運営 ■学校給食委員会の開催 ・学校給食食材調達制度の運用ほか	■不登校児童生徒への対応(教育支援センター) ■全小中学校へのいじめ調査の実施、検証 ■道徳教育・ボランティア活動 ■人権教育の推進 ■教育支援センターと連携した教育相談体制の構築 ■センター方式給食の運営及び食育の推進 ■学校給食委員会の運営 ■幼稚園給食の実施(再掲)
			3.98%	(中)7.20%			
		いじめの認知件数／年	(小)235件	(小)178件	減少させる		
			(中)86件	(中)45件			
		いじめの年度内解消率／年	(小)95.3%	(小)56.7%	100%		
			(中)32.6%	(中)62.2%			
	・特別支援教育の充実	—	—	—	—	■教育相談会・教育支援委員会による就学支援 ■小中学校への特別支援教育支援体制の充実 ■全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画・個別の指導計画作成	■教育相談会・教育支援委員会による就学支援 ■小中学校への特別支援教育支援体制の充実 ■全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画・個別の指導計画作成
	3 地域と一体となった学校づくり ・コミュニティ・スクールの取組	—	—	—	—	■学校運営協議会の開催(宮津学院・栗田学院・4小学校) ■コミュニティ・スクール推進コーディネーター(指導主事)の配置 ■地域学校協働活動の取組	■すべての学院・学校においてコミュニティ・スクールの一層の活性化 ■コミュニティ・スクール推進コーディネーター(指導主事)の配置継続 ■地域学校協働活動の更なる取組推進・発展

宮津市教育振興計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R5の主要な取組	R6の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R5	(目標値) R7		
【基本方針4】豊かな歴史文化の継承・活用	1 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	国・府・市指定文化財等の件数	199件	207件	214件	■市内新指定等文化財候補の調査(府指定、暫定登録含) ・新規指定なし ■市内文化財保全事業のコーディネート ・所有者等が実施の文化財修理事業等 ■市内重要遺跡の発掘調査(安国寺遺跡 H28～) ・安国寺遺跡発掘調査及び整理作業 ・民間開発行為に伴う工事立会 □文化財保存活用地域計画の認定 ・文化庁への認定申請(12月に認定) ・地域計画(本編、概要版)の刊行 ■文化的景観保護推進事業 ・重要な構成要素の現状変更 4件	■市内新指定等文化財候補の調査(府指定、暫定登録含) ・新規府指定・府暫定登録文化財調査(府と協働) ・新規市指定文化財候補物件の調査 ■市内文化財保全事業のコーディネート ・指定・未指定文化財の修理相談、事業化 ■市内重要遺跡の発掘調査(安国寺遺跡 H28～R8予定) ・現地調査、説明会の開催等 □文化財保存活用地域計画の推進 ・宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会(仮)の設置
	2 歴史文化を学び親しむ機会の創出	旧三上家住宅観光客数	3,963人	2,287人	6,000人	■天橋立の世界遺産登録推進 ・天橋立世界遺産講演会の開催 ・天橋立世界遺産講座(京都市内)の開催・パネル展示 ・天橋立ネイチャー講演会の開催 ・関連団体、イベント等との連携・PR活動 ・HPの全面更新 ■旧三上家住宅の保存と活用 ・指定管理者による自主事業実施 ・文化観光プログラムの開発 ・夜間ライトアップ及びイベントの実施 ■ふるさとみやづ学の構築 ・学校教育、社会教育と連携し幅広い世代への学習機会の提供 □文化庁移転フォーラムの開催 □歴史資料館再開館に向けた取組み ・子ども学芸員養成講座の開催	■天橋立世界遺産登録推進 ・世界遺産登録のテーマとなる「顕著な普遍的価値」構築に係る調査研究(京都府に協力) ・「世界遺産にする会」への支援を通じた普及啓発・機運醸成 ・関連団体、イベント等との連携・PR活動 □旧三上家住宅の保存と活用 ・指定・建物の保存修理に向けた耐震診断の実施 ■ふるさとみやづ学の構築 ・子ども学芸員体験実習の実施 ・学校教育、社会教育と連携し幅広い世代への学習機会の提供 □歴史資料館再開館に向けた取組み ※日本遺産北前船をテーマとした企画展示の実施